

【福岡の平均点が低い理由は数学】

久留米自習室では、毎日のように、私立中学の生徒や高校生が、私に数学を習いに来ています。

無制限に、毎日習えますから、毎日来る生徒もいます。

しかし、私が指導してきた 30 年近くの最初の 10 年は、「数学の成績を上げた生徒が落ちる」という現実の繰り返しでした。それもそうです。福岡県外では、「数学の勉強は学校だけで完結する」が当たり前でした。

久留米自習室では、学校の数学の予習・復習・宿題などが、わからないところを教えています。それで、ドンドン合格しています。平成 26 年に、東大文Ⅱに合格した附設高校の生徒は、センター数学ⅡB が 75 点でした。

附設の文系クラスでは、数学がトップの成績の生徒でしたが、東大に合格するような生徒でも、センター数学で 8 割、9 割を狙うのは難しいものがあります。

平成 27 年に、九大文系に合格した明善高校生は、センター数学 116 点で、ⅡB は 38 点でした。

大阪大学理系に合格した附設高校生は、センター数学 139 点、ⅡB は 69 点です。センター試験の数学は、国語同様に難しいので、捨てる。学校に任せる。学校の指導についていけない生徒がほとんどですから、それをフォローしています。

センター数学で、9 割、10 割を狙うのは、東大や九大を滑り止めにして、医学部を狙う生徒たちの話になりますから、一般の生徒は避けるのが無難です。100 時間勉強しても、1 点も上がらない数学や国語ばかりを勉強する福岡県の高校生と、100 時間勉強すれば、50 点も 100 点も上がる他の教科ばかりを勉強している福岡県外の高校生では、平均点に大きな差が出るのは当たり前です。福岡県内にある大学、九州大学や福岡教育大学の福岡県内の学生数の推移を見ればわかるでしょう？

10 年前、20 年前に比べると、どんどん福岡県の学生の数が減っています。福岡県内の高校生では、福岡県外の高校生たちの要領の良さには勝てないのです。「成績が上がっても、合格はしません」「可否に関係のある科目の成績を上げないと、合格しないのです」「努力は報われると言いますが、間違った努力は報われません」

「センター対策の国語や数学を、学校以外に浮気しているのは、間違った努力です」

ただ、一部、おかしな数学の問題集・参考書をさせている高校・あるいは高校の一部のクラスはありますので、そういう生徒たちには、別の数学指導をしています。

この業界での最初の 10 年、数学の成績を上げるほど不合格になる現実の中、東大や九大など、国立大学の合格者たちを集めて話を聞きました。

すると、「高校の数学の授業を未消化な生徒たちが、ここ(塾・予備校)で、更に授業を受けても意味はない」

「我々のように、学校の授業を消化すれば、どこの大学でも合格するよ」と、痛烈に言われました。

それ以降、私は数学の授業はやっていません。

学校の予習・復習・宿題の消化を助けると、他の教科の勉強時間ができます。小学生や中学生でさえ、久留米自習室で私に質問して、どんどん伸びているのです。高校生に、それができないはずはありません。